

## C-2: プレアワード

開催日時・会場 9月4日(水曜日) 9:00-10:30 新C403(4階)

### URA × マーケティング 新たな価値の創造に向けて

我々のグループは、第3回、第4回の年次大会で、マーケティングの観点からURA業務の高度化について提案してきました。セッション参加者の多くから、マーケティングの活用により、プレアワードにおけるURA業務が向上する可能性あるとの賛同の意見をいただいています。また、それに加えて、マーケティングの概念的説明だけでなく、より実践的、発展的な内容に期待するとの要望も寄せられています。そこで、今大会では、いわゆるマーケティングのフレームワークの活用から一歩進み、URAの実業務において、どのようにマーケティング活動を行っていくのかを議論したいと思います。

マーケティングの定義の一つは、顧客に対して、「価値」を創造し、提供することとされています。大学は、アカデミアや産業界、行政や地域に対して、どのような「価値」を創造し、提供することができるでしょうか。そして、URAはマーケティングで何をすることができるでしょうか。

セッション前半では、プレアワード業務におけるマーケティングの活用を再確認した上で、マーケティング研究者、大学執行部、URAそれぞれの立場の講師が、産学共同研究におけるマーケティングについて、事例を交えて講演します。マーケティングに馴染みのない方のために、マーケティング用語等は随時解説しますので、どなたでもご参加いただける内容となっています。また、セッション後半では、前半の講演を踏まえて、URAが大学のどのような「価値」を創造できるのか、「URA × マーケティング」の解を参加者の皆さんと共に討論し探っていきます。

### オーガナイザー

本間 紀美：  
東京工業大学 科学技術創成研究院 特任准教授

医療機器、製薬メーカー勤務の後、海外研究機関にて医学系基礎研究に従事。埼玉大学URA(特定助教)を経て、2018年9月より現職。研究力分析とプレアワード業務を担当。博士(理学)。AIPE認定知的財産アナリスト(特許)。

## 講演者

**三宅 雅人**: 奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構  
准教授 国際共同研究担当ディレクター

英国ケンブリッジ大学教員、国内の半導体装置メーカー、外資系半導体装置メーカーのテクニカルマーケティングマネージャー、新規技術分野推進室・室長を経て2014年1月にURAとして本学に着任。その後、研究推進機構の准教授に、現在は国際共同研究担当ディレクターとして、国際共同研究推進ならびに産官学連携業務を行っている。

**山崎 義広**: 駿河台大学 経済経営学部 講師

メーカー勤務(セールス及びマーケティングを担当)を経て、2014年新潟大学大学院技術経営研究科にて修士号(MOT)、2017年同大学大学院現代社会文化研究科にて博士号(学術)取得。同年4月より新潟大学大学院技術経営科特任助教。2019年4月より現職。JA新潟中央会JA戦略型中核人材育成研修講師。主な専門・関心領域はプレイス・ブランディング、関係性マーケティング、プラットフォームデザイン。

**桑田 薫**: 東京工業大学  
副学長(研究企画担当)・学長特別補佐

国内エレクトロニクスメーカー勤務(研究開発、研究企画、経営企画を担当)を経て、2016年より東京工業大学科学技術創成研究院特任教授、2018年より現職。主な専門、関心領域は、マーケティング、イノベーション普及学。